

No. 25	平成 25 年度「地域子育て活動支援事業」実施の内容
団 体 名	いわて思春期研究会
事 業 名	いわて塾 2013～思春期世代と向き合うすべての人～
実 施 期 間	平成 25 年 5 月～平成 25 年 8 月
事 業 実 績	<p>会場：鶯宿温泉 赤い風車 研修室 日程：平成 25 年 8 月 10 日（土）14：30 ～ 11 日（日）11：45 参加人数：一般 14 名、学生 18 名。合計 32 名（うち 25 名宿泊） 内容：</p> <p>I ①岩室 紳也氏「思春期の男子は何を抱えているか」 パワーポイントを用いての講演。初交経験率、HIV 感染・AIDS 患者数、人工妊娠中絶率、児童虐待数等、種々のデータや自身の経験に基づき、現代の男子に起きている問題や現象について解説。最近の理解に苦しむ事件の多発について述べ、その根本的な部分に共通する課題として「関係性の喪失」をあげた。</p> <p>②トークセッション「神に問う！～何でも答えていただきます～」 「青少年をとりまく環境 草食化？リアルはきらい？」 講師の岩室氏、上村氏、世話人秋元先生と参加者のフリートークセッション。司会進行は世話人（いわて思春期研究会副会長）佐藤卓氏。岩室氏の講演を受けての感想、疑問や普段自分が感じていること等があげられた。</p> <p>II ①上村 茂仁氏「今の子ども達の悩みって…？」 「メール相談から見てきたこと」 パワーポイントを使用しての講演。普段から思春期世代の子供達から 1 日 100 件を越すメール相談を受け付けており、相談件数は時期によって特徴があることや、最近の傾向について話された。性被害やデートDVについても触れられ、デートDV防止のために支援者の姿として求められるものは、‘気づく、聴く、寄り添う、大人につなぐ、一人ひとりを見る視点を持ってほしい’ とのコメントがなされた。</p> <p>②トークセッション 講師の上村氏、岩室氏、世話人秋元先生と参加者のフリートークセッション。司会進行は世話人佐藤卓氏。上村氏の講演を受けての感想、疑問や普段自分が感じていること等があげられた。 大事なこととして、親子、友達、恋愛といった関係性の教育と居場所が必要。</p>
実 施 効 果 自 己 評 価	<p>【事業の効果】 フリータイムトークにおいては、講師を中心に若者、大人が車座になって座り込み、垣根のない隣でお互い話しをし合うという、他ではあり得ない環境を作成。日頃の想い、疑問、意見を交換し合い、うなずきあい、理解を深めることが可能であった。 教育方法として一方的に知識の伝達になる講演方式は、ある程度の効果があるとしても、最終的に「自分の言葉で実感する」ことが最もその効果が高いことはすでに実証されており、著名な講師と「同じ時間を共有し、とことん話し合う経験」が若者たちへの高い教育効果を期待させるには十分であった。 また、大人側も、ほとんど話をすることの無い世代と存分に意見を出し合うことができる時間は非常に貴重なもので、思春期世代に対しての取組んでいるそれぞれの専門性に、更に今の若者の考え方、感じ方を加えることが出来たことは、今後の更なる発展を記することが出来た。</p> <p>【自己評価】 一般的講演、ディスカッション方式ではなく、あえて宿泊研修形式とした効果を、最大限得ることが出来たと考えている。参加者、周囲からの評価も非常に高く、毎年実施していきたいという要望を多数いただいております、「いわて塾」として継続して参りたい。</p>